

群馬県感染症発生動向調査情報 (官庁連絡会議資料 2022年6月号)

● 新型コロナウイルス感染症 (2022年6月2日 9:00現在 暫定値)

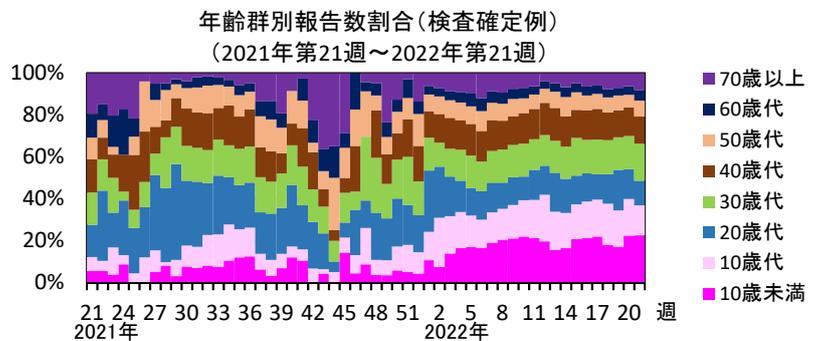
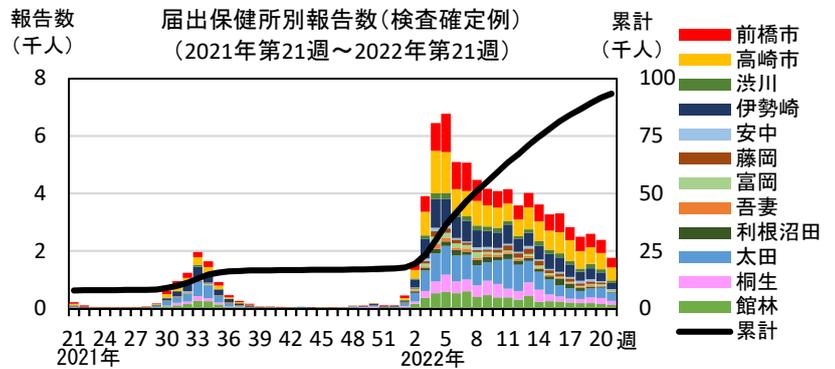
※群馬県のデータベースをもとに検査確定例のみ集計しています。HER-SYSデータを確認後、修正することがあります。

【2022年第21週 (～5月29日まで)】

2022年第21週の新型コロナウイルス感染症 (検査確定例) の報告は1,757例で、第20週 (2,381例) から減少しました。調査開始 (2020年) 以降の累計報告数は93,543例です。

【5月】

- ◆ 報告数は9,839名で、4月の報告数14,794名から減少しました。届出保健所別では、高崎市が最も多く2,317名 (24%)、次いで前橋市1,869名 (19%)、太田1,339名 (14%)、伊勢崎1,266名 (13%) でした。
- ◆ 年齢群別報告数は10歳未満が1,953名 (20%) と最も多く、次いで10歳代1,694名 (17%)、30歳代1,588名 (16%)、20歳代1,496名 (15%)、40歳代1,296名 (13%) でした。



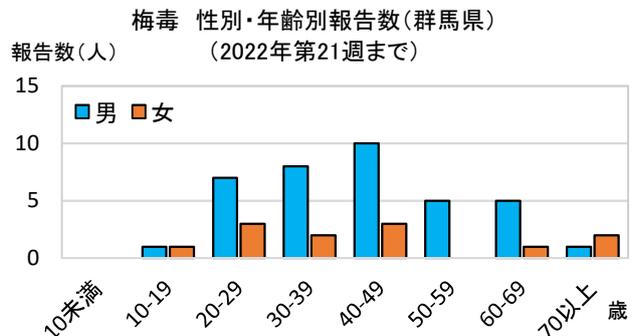
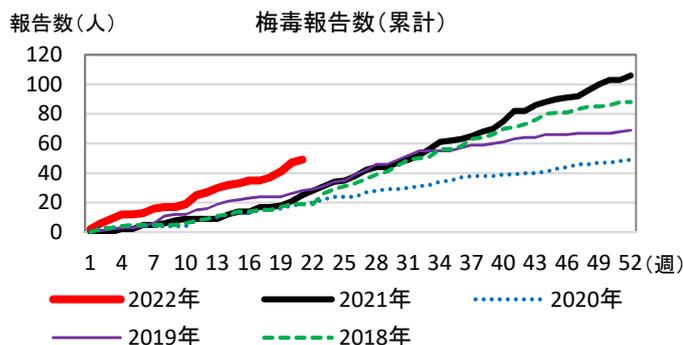
《参考：患者発生状況 (6月1日公表)》

県内患者発生数※ 94,535名 県内死亡者数：320名
国内患者発生数 (感染者：厚労省発表)：8,850,282名

※令和4年1月24日厚労省通知による疑似症患者を含む

● 梅毒 (全数報告疾患)

- ◆ 全国的に増加傾向にあります。群馬県では、2022年 (第21週まで) の報告数は49件で、感染症法に基づく調査が始まった1999年以降で最も多かった2021年の同時期の報告数 (25件) の2倍となっています。
- ◆ 男性の報告が76%を占めています。



*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県感染制御センター (群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について (Vol.20)

新型コロナウイルスゲノム解析結果(2022年第20週(5月16日～22日)まで)

デルタ株が2021年第19週(5月10日～16日)に初めて検出され、第29週(7月19日～25日)以降、AY.29が流行となりました。県内では、第48週(11月29日～12月5日)以降、デルタ株の再流行がありましたが、オミクロン株が第50週(12月13日～19日)に初めて検出され、2022年第1週(1月3日～9日)以降、BA.1が主な流行となりました。

第2週(1月10日～16日)に渡航歴のある患者からBA.2も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでした。2022年第9週(2月28日～3月6日)以降、BA.2の検出が増加し、現在はほとんどBA.2となっており、新たな流行株の探知のためにも引き続きゲノム解析が重要と思われます。

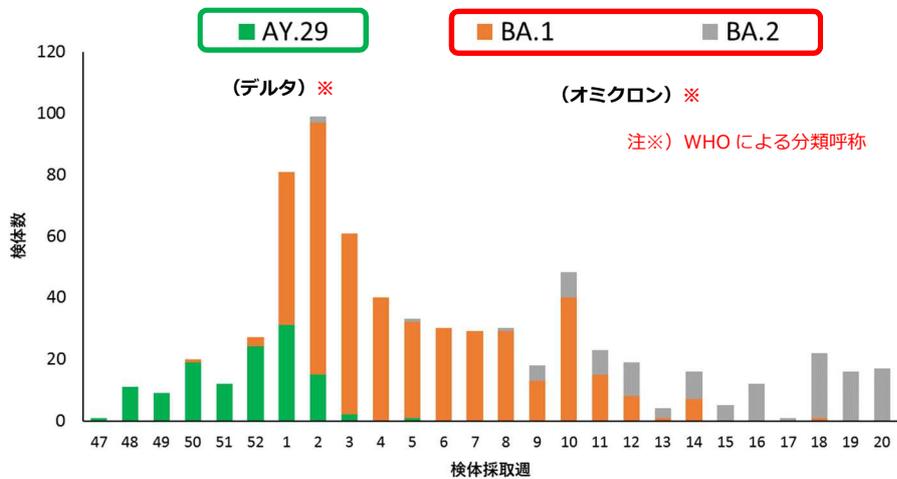


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

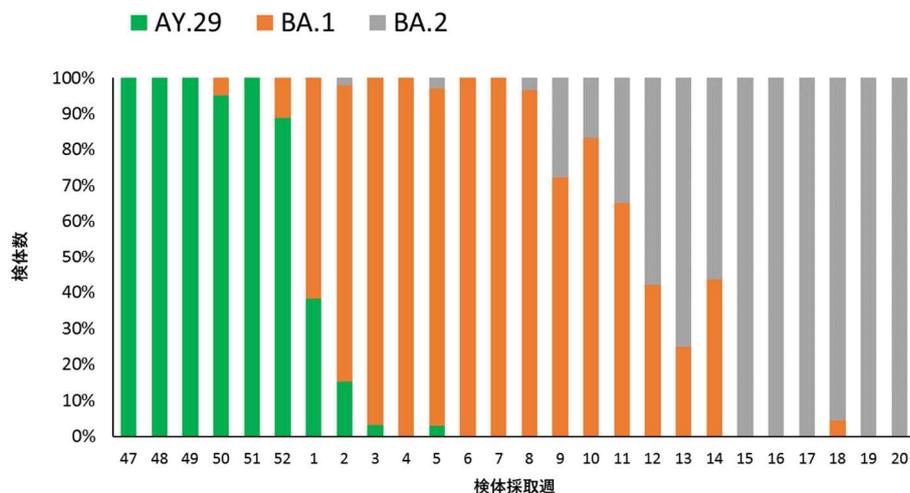


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合)【群馬県衛生環境研究所実施分】